



山下機械(社長「乾正樹氏、本社「名古屋市熱田区中田町八二〇」は四月十九、二十の両日、同社の本社工場において「2013プライベートショール」を開催した。アベノミクスの経済政策による国内景気の回復に期待が高まる中、ユーザーの期待に

即応できる展示会にするため「国内製造業復活支援フェア」と銘打って行われた。展示即売会や技術相談会もあり、期間中は多くの来場者で賑わった。初日の午前八時半から行われた開会式で乾社長は「昨年十二月二十六日の政権交代からわずか四月しか経っていませんが、アベノミクスが現在世界の支持を得て『異次元の金融緩和』、『為替是正円安』、『リーマンショック前を超える株

価上昇』等々、ここ中部の製造業には大変期待がもてる景気上昇の機運が高まってきました。『国内製造業と内需復活』、及び『設備年齢の若返り』も必須であり、政府も後押しをしています。しかし、内需復活の兆しはよく見えてきたものの、自動車製造業における積極設備投資にまで至

の波は、一旦スタートした各社においては、そう簡単には止められないのが実情ではないかと思えます。しかしその波も一段落し、順調に推移すれば、五、六月ごろから必ず国内製造業が活気づき、それに伴い設備投資意欲も増してくるものと確信しています。昨年の弊社展示会は六月二十九

日(土)が午前十時、午後五時、二日(日)と三日(月)は午前九時、午後五時。『2013ゴールデンプフェア 産業・機械工業見本市ふくい』の見どころ。①まちづくり・ものづくりを応援する、メーカー約二百社による県内最大規模の見本市。②世界No.1を誇る「日本のもつくり」を代表する、工作機械業界から十九社、圧巻の二十四台展示。③造る、削る、磨く、測る、動かすという、プロの抱える問題解決の場を提供。④節電、省エネ技術の進歩を実感、提案できる商材も満載、注目の太陽光も三メーカー展示。⑤環境にやさしい、水まわり空間とインフラ整備、各種プラントへの提案。⑥管材・住宅設備の一流メーカー四十社を、最新の商材とともに一堂に展示。⑦建設・土木のプロメーカー約三十社が集い、あらゆるまちづくりをサポート。⑧北陸新幹線の早期完成を応援、建設応援コーナーを本館に設置(関連二十メーカー)。

り四月理事会が開かれ、五月二十二日の総会に向けて役割分担や総会資料の内容等を審議した。監査報告として、加納監事より適正に処理されていることを認める旨の報告があり承認された。平成二十五年度の事業計画は、例年通りの総会、研修会、ボウリング大会、新年会に加えて、工場見学会の実施を検討することとなった。また、併せて予算案も審議し、ボウリング大会への予算を増額することなどを決め、総会に上程する。その他、各議案の報告者、各事業の担当者などを決めて、総会に向け万全を期した。総会資料並びに総会案内は、五月の連休明けに発送することも確認した。

名古屋機工新聞

メーカー200社が出展し8年ぶりに開催

『2013ゴールデンプフェア』

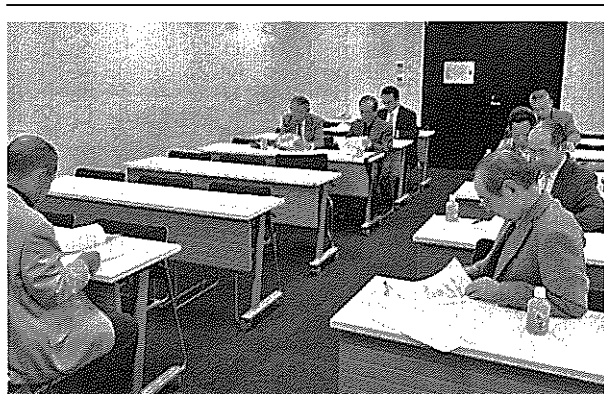
吉岡幸 6月1〜3日、福井市で

建設・産業資材のトータルサプライヤー、吉岡幸(社長「吉岡正盛氏、本社「福井市宝永三二二五」は六月一日(土)から三日(月)までの三日間、福井県産業会館全館(福井市下六条一〇三)において「2013ゴールデンプフェア 産業・機械工業見本市ふくい」を開催する。福井県機械工業協同組合並びに福井県管工事業協同組合連合会が後援。

展示内容は、CNC工作機械▽小型機械▽CAD・CAM▽切削工具▽工作補器▽伝導・省力▽測定機器▽作業工具▽環境機器▽鍛造・板金加工機▽マテハン機器▽電動工具▽工場用機器▽産業機器▽建設・土木機器▽管工機材▽住宅設備機器

▽行政機関▽家電・ライフ品など。会期中には講習会も開かれ、一日(土)にトプロンソキアボジションクジヤパン・水流一氏の①「土木施工管理技士継続学習制度(CPDS)セミナー」②「新技術情報システム(NETIS)商品紹介」、三日(月)には荏原製作所・牧野氏氏の「ポンプ省エネ化の手法」・省エネルギー形ポンプの展開、しぐみカイゼン研究所・若井吉樹氏の「世界一わかりやすい在庫削減」、ミットヨ・渡辺光寛氏の「測定機器の役割の変化と導入事例」が行われる。

フェア開催時間は、初日の二日(土)が午前十時、午後五時、二日(日)と三日(月)は午前九時、午後五時。『2013ゴールデンプフェア 産業・機械工業見本市ふくい』の見どころ。①まちづくり・ものづくりを応援する、メーカー約二百社による県内最大規模の見本市。②世界No.1を誇る「日本のもつくり」を代表する、工作機械業界から十九社、圧巻の二十四台展示。③造る、削る、磨く、測る、動かすという、プロの抱える問題解決の場を提供。④節電、省エネ技術の進歩を実感、提案できる商材も満載、注目の太陽光も三メーカー展示。⑤環境にやさしい、水まわり空間とインフラ整備、各種プラントへの提案。⑥管材・住宅設備の一流メーカー四十社を、最新の商材とともに一堂に展示。⑦建設・土木のプロメーカー約三十社が集い、あらゆるまちづくりをサポート。⑧北陸新幹線の早期完成を応援、建設応援コーナーを本館に設置(関連二十メーカー)。



四月理事会が開かれ、五月二十二日の総会に向けて役割分担や総会資料の内容等を審議した。監査報告として、加納監事より適正に処理されていることを認める旨の報告があり承認された。平成二十五年度の事業計画は、例年通りの総会、研修会、ボウリング大会、新年会に加えて、工場見学会の実施を検討することとなった。また、併せて予算案も審議し、ボウリング大会への予算を増額することなどを決め、総会に上程する。その他、各議案の報告者、各事業の担当者などを決めて、総会に向け万全を期した。総会資料並びに総会案内は、五月の連休明けに発送することも確認した。